

開設法人代表者 様
関係施設施設長 様

日頃よりお世話になっております。

3月23日に発表した市長コメントを送付します。

各施設におかれましては、添付ファイルのコメントをできるだけ大きく拡大し、入口など市民の目に触れやすい場所に掲示をお願いいたします。

なお、このコメントの掲示により3月18日に送付した市長コメント（4首長緊急メッセージでの市長コメント）は撤去ください。

よろしく願いいたします。

〒230-0017 横浜市中区港町1-1
横浜市役所健康福祉局高齢健康福祉部
高齢施設課
電話：671-3923
FAX：641-6408

市民の皆様へ
～定例記者会見での地震に関する市長コメント～

市民の皆様は、お願いがあります。

正しい情報に基づいて落ち着いて行動してください。

横浜市ホームページの冒頭に、電気・停電、水道などのライフライン、交通・道路、放射能、義援金など、随時新しい情報を載せています。

また、3月17日から災害情報に関してツイッターでの情報提供も始めています。

具体的にぜひお願いしたいことは、平成23年3月15日に県知事や政令市3市長で行った共同アピールの3点です。

第1点目は、節電へのご協力です。お一人おひとりの小さな心がけの積み重ねが、停電を防ぎ、社会の混乱防止につながります。

2点目は、ガソリンなどの燃料の買い急ぎや、不要不急の車での外出を控えていただきたいということです。市内の石油精製会社での精製はスタートしましたが、被災地支援や医療機関等への安定供給が最優先に、そして安定的に行われるよう、ご協力をお願いします。

3点目は、生活用品の買だめを慎み、互いに助け合っていたきたいということです。今は、本当に必要なものを必要な量だけ買うように心がけ、被災地に必要なものが回るよう、お互いに助け合いましょう。

放射線量については、今のところ、人体や健康に影響のあるレベルではありません。市内の測定結果をホームページで公表していますので、ご覧下さい。

最後に、こういうときだからこそ、隣近所で助け合いましょう。一人で暮らしている高齢の方などを気にかけて、ぜひ声を掛け合ってください。

平成23年3月23日
横浜市災害対策本部長
横浜市長 林 文子